



運営・管理の仕事

施設をまとめ運営・管理していく縁の下のちからもち

福祉のサービスを必要としている人が、社会福祉施設を便利に気持ちよく利用できるよう、施設で働く人をリードしたり、お金や設備などを管理する仕事です。仕事には、施設のリーダー役である「施設長」、事務作業を行い施設の運営を支える「事務員」のほか、清掃や利用者の送り迎えを担当する運転手などたくさんの職種があります。

職種紹介

施設長

施設長は、その名のとおり長として責任をもち、福祉施設の運営・管理をする仕事です。施設の目標を決め、その達成に向けてサービスの見直しやお金・働く人の管理、自治体の福祉担当者・提携する病院などとの連絡や話し合いを行います。施設の進む方向を定め、みんなの先頭に立って引っばっていく、いわば、施設のかじとり役です。

主な活躍の場

福祉施設

必要な資格

施設長になるには、各施設の種別に任用基準が定められています。任用基準に合致し、福祉現場で経験を積んだベテラン層から任用されることが多いため、まずは福祉の仕事などにつき、経験を積みましょう。

事務員

施設を運営していくために必要な事務作業を行う仕事です。主な仕事には、お金にかかわる「経理」とその他のあらゆる作業を行う「庶務」があります。経理は、介護報酬や運営費の請求や収入と支出の管理、職員の給料の管理や支払いを、庶務は、書類をつかって送ったり、まとめたり、あるいは施設内の設備の管理などを行っています。

主な活躍の場

福祉施設

必要な資格

資格は特に定められていませんが、仕事に必要なパソコン操作や簿記の技術を身につけておくことが就職に有利です。